

# 令和7年度 第1回微生物検査研究班研修会 参加アンケート結果

回答してくださった皆様、  
ありがとうございます。



# 研修会内容

## 第 36 回日本臨床微生物学会総会演題講演

### 1. 抗酸菌菌血症 17 例の検討

齊藤 智久 (総合病院国保旭中央病院)

### 2. MALDI-TOF MS による臨床関連系状菌の同定精度

山下 晃司 (千葉大学医学部附属病院)

### 3. 尿から分離された *Aerococcus* 属菌の詳細同定の意義について

高嶋 楓 (亀田総合病院)

### 4. 好気培養で発育するグラム陰性らせん菌 *Thalassospira* 属菌血症の 1 例

増田 朱里 (亀田総合病院)

## 教育企画

『一から見直す尿培養 ～基礎編～ 』

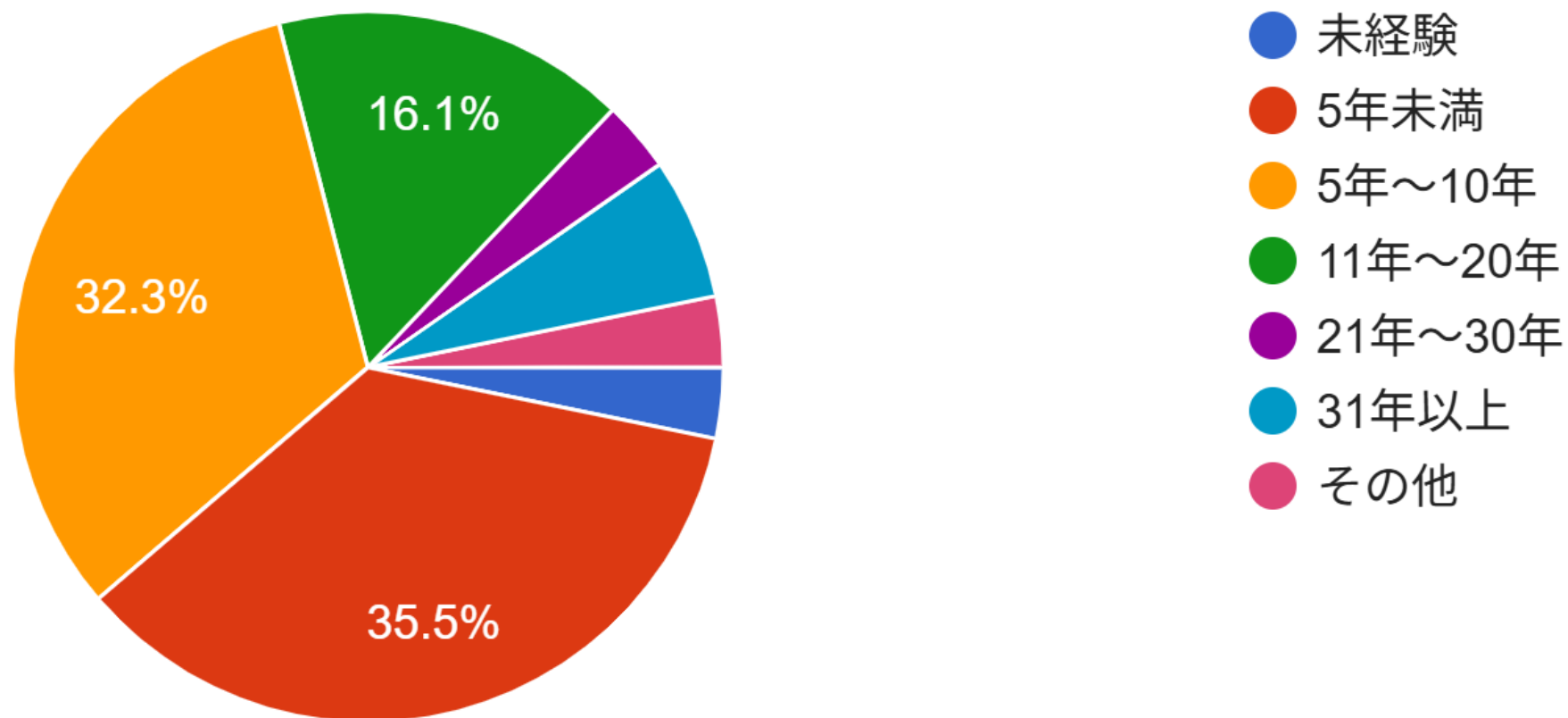
大垣 朋士 (JCHO 船橋中央病院)

『一から見直す尿培養 ～応用編～ 』

渡辺 直樹 (亀田総合病院)

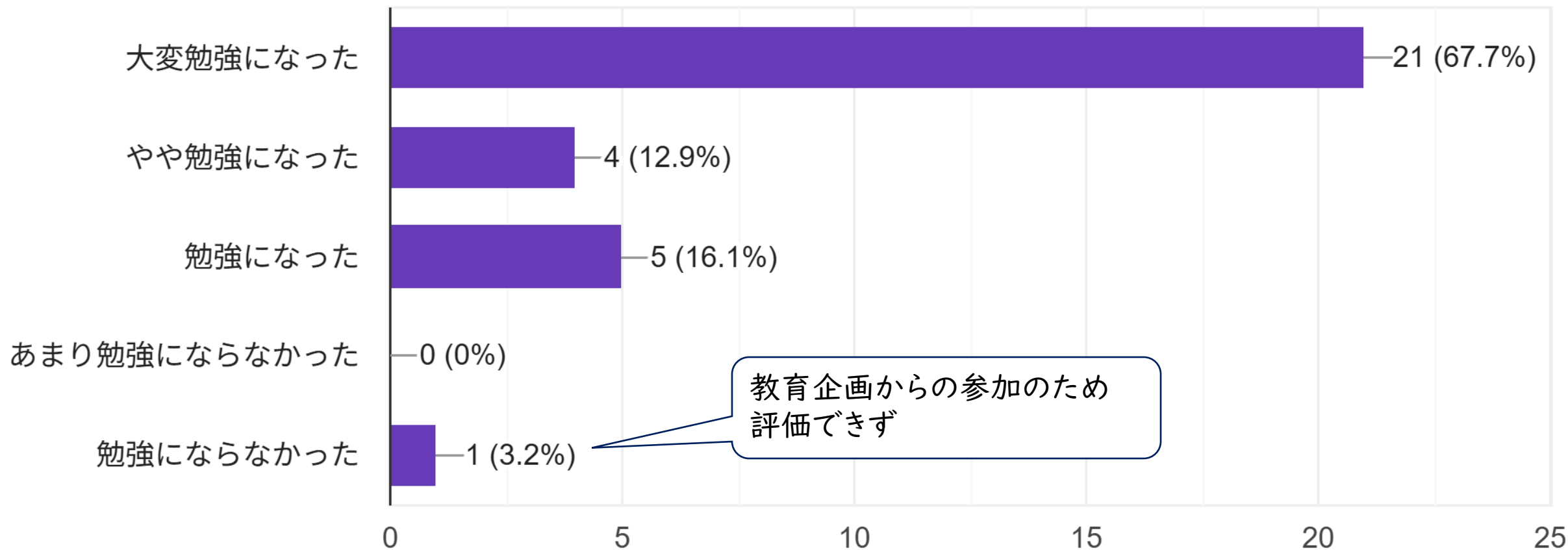
## ②あなたの微生物検査経験年数は何年ですか？【必須】

31 件の回答



④第 36 回日本臨床微生物学会総会演題講演 4題の感想をお聞かせください。【必須】

31 件の回答



○回答した理由を詳しく教えてください

(全体を通して)

- ・普段の業務で困っていることが聞けたから。
- ・微生物検査の経験が浅いため初めて聞く言葉も多く私にとっては少々難しかったが、わからない言葉はメモをとって後から調べることができたため勉強になった。
- ・微生物学会では演題が多く、ほとんど聴講できていないのが現状かと思います。講演者様が丹念に作り上げられた発表資料が一見のみになり、広まらないのはもったいないと思います。近隣地域での発表、活躍の場があるのは非常に有用だと思います。
- ・珍しい症例、検出菌など参考になった
- ・自分の病院ではなかなか見ないような菌についての知識を聴くことができたため。
- ・学会会場だと、時間の縛りがあり、今回の研修会では発表について、ディスカッションが出来、有意義であった。
- ・自施設にない検査機器での統計や普段会うことのない菌種について大変勉強になりました。
- ・当院では質量分析を置いていないので、難しい話題も見られた。

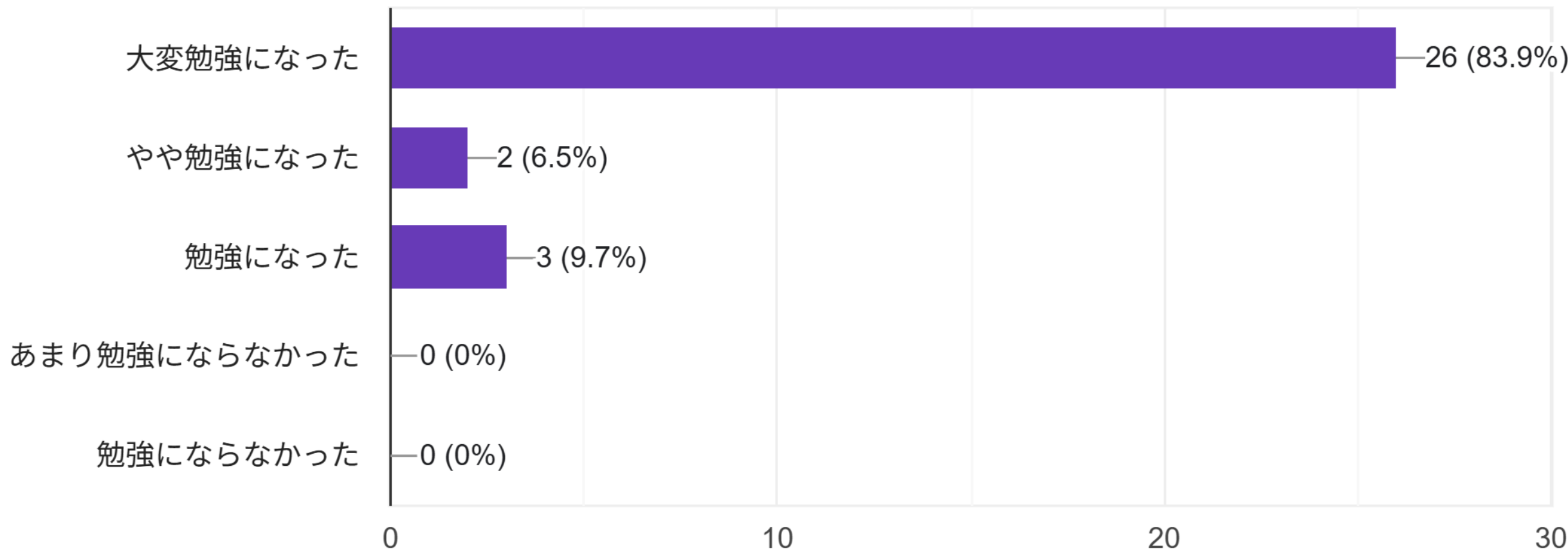
○回答した理由を詳しく教えてください

(各演題に対して)

- ・当院ではマイコFボトルを導入していないので、発表が聞けて大変勉強になりました。
- ・少し前に粟粒結核を疑う患者さまがいたので、BD BACTEC Myco/Fを取り寄せましたが、その後どのように運用すればいいか困ってました。結核を疑う症例がきたら、血液培養と一緒に採ってもらうようにしようと思います。
- ・私が勤めている市川病院では、結核病棟があるのですが、Myco/Fを使用したことがないため、とても参考になりました。臨床側にも提案していけたらと思いました。
- ・当院でも使用してる質量分析の性能評価等とても参考になりました。
- ・糸状菌の同定方法に関して、やはり収録菌株数がミソなのだと実感しました。真菌センターならではのと思います。他施設で同定が難しい糸状菌を、積極的に同定していければと思います
- ・質量分析装置による糸状菌同定で普段悩んでいることや、*Aerococcus*など日常検査で遭遇する菌種について深く知ることができた。*Thalassospira*について初めて知ることが多かった。
- ・エロコッカス等、ルーチンでも扱いに困ってた細菌について詳しく知ることができた。
- ・“皆さん素晴らしい講演でした。特に *Thalassospira* 属は初めて聞いた菌名で、他のらせん菌との培養方法の違いや鏡検での形の特徴など様々な情報を知ることができました。”
- ・らせん菌を塗抹で確認した時に *Campylobacter*、*Helicobacter* 以外にも可能性があることを意識して検査に臨もうと思います。

⑥教育講演『一から見直す尿培養～基礎編・応用編～』 感想をお聞かせください【必須】

31 件の回答



## ○回答した理由を詳しく教えてください

- ・普段検査している尿培養について見直せました。
- ・普段一般尿の結果まで見ていなかったのでも参考になりました。そして「症例から学ぶ」は参加型でとても面白く、勉強になりました。
- ・普段あえて参考書を見ないような基礎的なことを再確認することができた。
- ・培養結果の捉え方の勉強になりました。
- ・尿培養は自然排尿だと皮膚常在菌も混入してどこから菌を取るべきなのか悩むところなので、そこに関して議論できたのはありがたいと思いました。
- ・尿培養の時に、尿の定性・沈渣の結果をあまりみてなかったのこれから確認しようと思いました。
- ・尿培養の基礎からアンケートに基づく各施設の検査状況、症例を交えた解説などを聴講でき大変勉強になったのと同時に、早く検査の標準化が進めばいいなと思いました。今後は一般検査のデータも参考にしてみようと思います。
- ・尿検体はどこの施設でも出る検体であり、改めてUTIのことについて深く学ぶことができました。
- ・尿培養がいかに難しいと実感しました。微生物検査（特に菌量）だけでなく、一般検査、血液検査、その他臨床背景など情報を得たうえで検査することが臨床的意義のある検査であると大変勉強になりました。

○回答した理由を詳しく教えてください

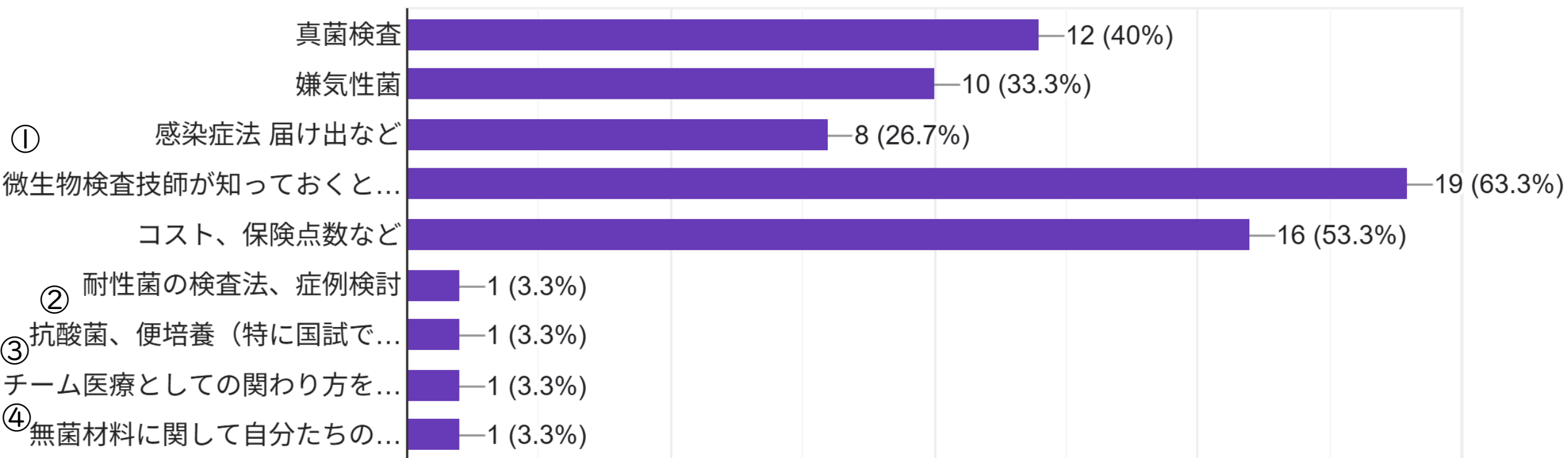
- ・尿検査の意義、検査法、標準化の難しさなど色々な考え方を知ることができてよかった。
- ・渡辺先生のご講演で、無症候性尿路感染症において、主治医に確認した上で薬剤感受性検査を実施しなかったという症例を紹介されており、Diagnostic Stewardshipを適切にご実施されているという点に感銘を受けました。当院においては、GNRが4+程度検出されていた場合には、主治医への確認無しに薬剤感受性検査を実施していたため、今後の業務を見直す良いきっかけとなりました。
- ・多院の状況も把握でき、懇親会で講師の先生方に気さくに答えていただくなど、大変有意義であった。
- ・他施設の方法などもわかり、良かったです。応用編、ふだん尿培養しないので、静かにしていましたが、個人的にはああいった巻き込み型の講演けっこう好きです。
- ・新人教育において必要な内容が再確認できたから。
- ・実際の症例も含めて説明されており、自分でも考察しながらの進行が分かりやすかったため。
- ・市川病院では、いまだに1 $\mu$ 白金耳を使用して尿培養を実施しています。今回の教育講演で、改めて10 $\mu$ 白金耳に変えていく必要があることを実感したので、今年中に当院でも10 $\mu$ に変更をしていくことを目標にしたいと思います。
- ・現在、特に尿検体を分離し同定する機会が多いため、身近な講演であったため大変勉強になった。

○回答した理由を詳しく教えてください

- ・"基礎編とてもありがたいです。チョコレートと血寒の分角培地があるんですね!前回の意見交換会の時にCA培地を教えてもらって使用しています。応用編も大変勉強になりました。結構なんでも拾ってしまっていたので、反省しています。とてもわかりやすく教えていただきありがとうございます。"
- ・基礎的なことから改めて確認できたためになった
- ・基礎の復習となりました。
- ・基礎から症例提示の形式で楽しく勉強できました
- ・2演者様とも、時間配分、講演企図を適切に組み込んで作り上げられていらっしゃると思い、感銘を受けました。基礎編では世間統計から広い話題を提供頂き、ユニークも織り交ぜられ、また応用編で症例ベースのディスカッション方式で見識が高まりました。検体尿といった点を深堀頂き、非常に勉強になりました。
- ・施設によって尿培養の方法にこんなにも違いがあることに驚きました。
- ・菌の取るべき優先順位などは現在の課題だと考えていたので、他の病院でどのような菌を優先的に取っているのかカルテや他の検査結果とどのように結びつけて考えているのか知ることが出来、大変ありがたい場を設けて頂きました。

# 研修会でとりあげてもらいたいテーマありますか？

30 件の回答



※設問が途切れている箇所

①感染症法 届け出など;微生物検査技師が知っておくとよいチーム医療

②抗酸菌、便培養（特に国試では勉強するものの普段出会わない下痢症、*Vibrio* sp. *Shigella* sp. *Salmonella* sp.など）

③チーム医療としての関わり方をどのようにすればいいのかを教えてください。

④無菌材料に関して自分たちの病院が菌を取りすぎな気が最近していて、他の病院がどのくらい菌を取っているのか知りたいです。

## ⑪微生物研究班になにかご意見ありましたらお聞かせください

- ・微生物検査歴はまだまだ未熟ですが、微生物検査にとっても興味があり、他施設のことなど多く知りたいことがありますので研修班にはこれから積極的に参加したいと思います。毎月開催されたとしても出たいと思います。よろしくお願いいたします。
- ・新人からベテランまで楽しめる研修会を引き続き開催してくださることを期待しています。
- ・初めて参加させて頂きました。講演内容テーマが明確に企画されており、非常に勉強になりました。今後とも研修会に参加させて頂ければと思います。
- ・初めての参加でしたが、楽しく微生物検査についての知識を付けることができました。また、他の方と関わることで自分のモチベーションにもなりました。日々精進して先輩方に負けないような技師になりたいと思います。ありがとうございました。
- ・昨年から勇気を出して研究班に参加させて頂きましたが、参加して本当に良かったです。勉強会ももちろんですが、特に意見交換会は色々教えてもらえるし、とても楽しいです。本当は、若い方達に悪いかな…などと遠慮してしまっていたのですが、これからは図々しくできるだけ参加させて頂こうと思います。
- ・今回、研修会から情報交換会までとても有意義な時間でした。これからもよろしくお願いいたします。
- ・"研修会という貴重な機会を作ってくださった研究班の皆様、ありがとうございました。大変勉強になりました。またこのような機会がありましたら積極的に参加したいと考えております。"
- ・この度は研修会の開催ありがとうございました。また次回も参加させて頂きたいと存じます。
- ・この度は貴重な講演を開いて頂きありがとうございました。

## ⑪微生物研究班になにかご意見ありましたらお聞かせください

(研究班メンバー)

- ・お疲れ様です。相談等何かあればいつでも。(里村前前班長)
- ・頼りない副班長ですが、皆様宜しく願ひいたします💧 (瀬川副班長)

## 令和7年度の研修会予定

- ・ 9月6、7日 第2回微生物検査研究班研修会 (ハイブリッド開催)  
会場：サンライズ九十九里  
内容：一から見直す微生物検査 (山本剛先生、大城先生)  
別紙参照
- ・ 10月18日 第1回医療及び公衆衛生従事者による講習会 (ハイブリッド開催)  
会場：未定 (千葉の上の方)  
内容：一から見直す感染症発生動向 (保健所の対応)  
一から見直す抗原検査 (仮)
- ・ 12月20日 第3回微生物検査研究班研修会 実技講習 (現地のみ)  
会場：順天堂大学 日の出キャンパス  
内容：腸管病原菌の確認、耐性菌検査
- ・ 1月31日 第4回微生物検査研究班研修会 (ハイブリッド開催)  
会場：JFEみやぎ倶楽部  
内容：千臨技精度管理報告会  
千葉ネットサーベイSeCIHIについて (谷口先生)

第1回微生物検査研究班研修会にご参加いただき、誠にありがとうございました。  
皆様のおかげで、充実した研修会を開催することができました。  
今後も、楽しく学び合える場を皆様とともに築いていきたいと考えております。

今回ご都合が合わず参加が叶わなかった皆様へ——

第2回研修会は、現地開催に加え、リモートでの参加も可能となるよう準備を進めております。  
ぜひご参加をご検討いただけますと幸いです。  
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

微生物検査研究班 班長 加地



懇親会の写真をChatGPTで  
ジブリ風に加工作品です。  
写真持っている人は比べてみ  
てください。